

そよかぜ

題字 小野倉藏

なかべ学院
中部少年学院後援会

〒750-0081
山口県下関市彦島角倉町
3丁目6番17号
TEL (083) 266-1934
発行 広報部
印刷

(株) ナカハラプリンテックス
TEL (083) 266-4601



ご挨拶

下関市長 前田 晋太郎

皆さん、こんにちは。下関市長の前田晋太郎です。春の陽ざしが一段とあたたかさを増し、入学式や新学期にふさわしい季節を迎える中、いかがお過ごしでしょうか。

この4月からは、学校や学年が変わり、新しい友達が増えるなど、これまでとは違う世界が皆さんを待っています。新鮮な出来事やワクワクすることたくさん出会うことと思いますので、そんな毎日を楽しんで、大切にしてくださいと思います。

もちろん、辛いことや思い通りにならないこともたくさんあります。でも、そんな時は、決して一人で悩まないください。皆さんのことは、これまでと同じように、これからもたくさんの方が見守り、支えてくれます。そのことを忘れずに、夢に向かって挑戦し、将来さまざまな舞台で活躍されることを期待しています。

また、職員や関係の皆様におかれましては、日々のご尽力に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。これから乳児院の移転・新築など、お忙しい日々が続くと存じますが、子どもたちの健やかな成長に、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、中部少年学院がこれからも永く、笑顔あふれ心温まる場所でありますよう、また、皆様のますますのご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成29年度 ホーム便り

花ホーム

花ホームです。ハロウィンパーティーでは思い思いの仮装で楽しみ、学院クリスマス会ではパフォーマンスを取り入れ、幼児は可愛らしいウサギ・タヌキ・サル・カメなどの動物になりきってのダンスを、小学生は今流行の韓国アイドルグループのダンスをそれぞれ躍り切り、最後の合奏では各児それぞれ得意な楽器を手に皆で力を合わせクリスマスソングを上手に演奏することが出来ました。

今年の冬はインフルエンザの大波が来てしまい、ホーム児童のほとんどが罹ってしまい隔離部屋での生活が続きました。

子ども達のこの一年間の成長も著しく、特に幼稚園児は文字の学習を意欲的に取り組み色々な文字が書けるようになりました。時には「お手紙あげる」とくれる事も、頑張って書いてくれた手紙を貰い職員が宝物がまた増えました。

ホーム児童の笑顔が続くよう職員が協力して支援に努めていきます。



海ホーム

今年度の海ホームは、子どもも職員も全員中高生という新たなスタートを切りました。部活を終えた中学生と思春期爆走中の高校生とが一緒になれば若干の男臭もありました。無理ありません。「清潔に」という言葉を重視してきたように思えます。

進路の岐路に立たされた中学3年生は公立高校に合格、高校3年生は無事に内定を頂き自立にむけた準備を始めました。卒業する2人は小さな頃から育った学院での生活も後少しです。立派な姿で旅立って欲しいと思っています。

ホーム外出では、去年で閉園したスペースワールドへ行くことが出来ました。とても良い思い出になったと思います。クリスマス会の劇は、熱演の効果もあり、学院70年の歴史

の中で最も大爆笑をもらえたと思っと思います。



……一月下旬から第二波が……今度は全員B型。幼い子どもが多く仕方のない事ですが大変でした。いやいや心配でした。受験生に絶対につづらないよう全員でマスクをし、手洗いがいいいつもより念入りにしました。今は落ち着き一安心。そんな冬でした。

来年度も文武両道を目指し、頑張ります。

立春を迎えたのは良いのですが、ホームには節分の鬼を迎える事に……まさに阿鼻叫喚。その様子を見て大笑いしている大人に気が付かないほどの大混乱でした。あれだけ叫べば、鬼も逃げ出し、邪気も払えた事でしょう。

そんな月ホームですが、秋は読書の秋！ということ、図書館へよく行きました。絵本に学習漫画 占いの本と沢山の本に出会えました。どんな本でも、きつと力になるはず。



そして冬と言えばクリスマス会！今年は趣向と変えて劇に挑戦です。海ホームとの競演となりました。動けば台詞を忘れ、台詞を言えば動きが……ダンスと違って大苦戦でした。受験生は次の道が決まり、それぞれが今年度を振り返りながら、次のステップに備えています。大ジャンプをして転がっても、それも良い経験！「失敗しても大丈夫」と寄り添った二年でした。次はどこまで跳べるかな？手を貸し、励まし、時には一緒に転がりながら……一歩ずつ進んでいけたらと思います。

鳥ホーム 何かからお話ししようか……何からお話してもインフルエンザの話になってしまいます。鳥ホームは十二月初旬からインフルエンザに罹りました。それもA型が数名いる中にボツンとB型が一人。次から次へと罹患し落ち着いたのは十二月下旬落ち着いてお正月を迎えられたと思ったら

……一年はあつと言っ間！と言います。が、本当にこの一年はとても早く感じました。ピッカピカの小学年生は、今では入でサツと宿題を済ませるようになりました。中学三年生は進路も決まり、将来に向けての話をしています。みんなの成長が目に見えて分かり、とても嬉しく思っています。



風ホーム 一年はあつと言っ間！と言います。が、本当にこの一年はとても早く感じました。ピッカピカの小学年生は、今では入でサツと宿題を済ませるようになりました。中学三年生は進路も決まり、将来に向けての話をしています。みんなの成長が目に見えて分かり、とても嬉しく思っています。

風ホームで生活していると、風ホームのほとんどの子達が共通している事が分かりました。それは片付けが苦手。散らかしては声をかけて片付けて、そしてまた散らかす。そして私は気付きました。風ホーム職員も片付けが苦手な事を……。来年度の風ホームの目標は整理整頓。綺麗なホームを目指します。

私が今年度、子どもから言われて嬉しかった言葉は「大好き」です。本心に心がこもって言ってくれた言葉って、心に響きますよね。喧嘩も絶えず、叱る事もとても多いですが、私も風ホームが大好きです。



平成29年度 乳児院便り

この一年間、日常の生活の中でも少人数養育を多く取り入れてきました。遊びではパズルに挑戦。形が合うように考えながら集中して取り組み「デキター」と拍手で完成を喜びます。おしゃべりの弾む食卓は「オイシイネ」の音が響きます。入浴の際、赤ちゃんも保育者に抱っこされ一緒に湯舟に浸かると気持ち良さそうに「アーアー」と喃語を発します。様々な体験を重ね、今年度も元氣いっぱい笑顔いっぱいの子供達でした。



そよ風便り

「1年を振り返って」

今年度も生活支援や余暇支援は情報交換を密にして療育に当たり、支援の充実を図りました。

児童発達支援では、参観期間を設けました。多くの家族が連日見学にいられて、生き生きと活動する様子を見られて安心されていきました。また所外活動も多く取り入れて活動の場を広げました。

放課後等デイサービスでは自立活動や作業の他に余暇の充実にも努めました。

今後これまでも以上のように楽しいそよ風を頑張ります。



【寄贈・寄附】

平成29年10月～30年3月(敬称略)
たくさんの皆様のご支援に心から感謝申し上げます

寄贈

- ・アトリエ心
・独立行政法人国民センター
・プレム・ラワット日本事務局
・中村 康子
・畑村 恒
・赤間神宮
・太古窯 白石家門
・フードバンク山口
・リビングゲ下関
・Wホールディングス
・常閑寺
(有)魚工房 鮮福
・ソロプチミスト東下関
・道辻 積久
・株式会社 イエロースタジオ
・西日本高速道路メンテナンス九州
・西日本高速道路メンテナンス
・中国株式会社下関保全事務所
・セブインレブ 福浦口店
・奥谷 博明
・公財 博見育成協議会児童給食事業部
・しの武おにの家
・まりんちゃん
・小野 茂子
・NPO法人NGOフック21フラットホーム
・中村 精治
・有限会社 ミルクフーズ
・コンビニエクスト
・石川 啓
・COCOLAND
・安達 倭雅子
・RITZ 大興産業
・株式会社 ブランドゥ
・山口整形外科
・東海林 拓也
(株)寿工務店
・中尾 清
・門司 一徹
・大和 有子
・田中 隆光
・リビングテネサービス
・山口県立下関(工業)工科高等学校
・山口県信用農業協同組合連合会JAバンク推進部
・一般社団法人 日本レコード協会
・太刀山 逸男
・下本 一公
・Pure Heart
・亀山八幡宮
・畑尾 光子
・大江 正人

寄附

- ・唐戸水産物協同組合
・活きいき馬関街
・下関市産産業者直売組合
・唐戸市場合同卸商組合
・唐戸市場業者連合協同組合
・下関唐戸魚市場
・下関唐戸魚市場仲卸協同組合
・唐戸市場食料品卸組合
・下関沿岸漁業生産者事業協同組合
・唐戸市場開連業者組合
・唐戸市場おみさん会
・下関唐戸鮮魚共同組合
・山口合同ガス株式会社
・西村 一男
・福川 太一
・レジェンドミュージックオフィス
・特急はんや
・全国シヤンメリー協同組合
・田中 作治
・荻野 博光
・美谷室 としま
・江崎グリコ株式会社(WPO法人児童養護施設支援の会)
(株)宮崎魚屋
・日本鏡餅組合事務局
・脇田 良明 恵子
・マルハニチロ下関工場 喜納泰治
・全国労働者共済生活協同組合連合会公益財団法人 中部財団
はつともつと
(株)表田工務店
・下崎 久美子
・溝口 並枝
・山本 康江
・下関市園芸センター
・山口新聞東京支社
・鈴木歯科
(有)玉川文具
・佐久間 一
・藤永 健一
・思津 愛奈
・在日朝鮮人総連合会 下関支部
(株)蟹屋
・中村 精治
simonoseki 819組
(株)ブラーナ美容室 fuhcooh
株式会社 ゆうちょう銀行
原口 博美
(株)向学社 宇部進学教室
海響館 林
森百合
株式会社 日本教分社
株式会社 清紀子
亀田 友康
菊田 恭子
山口県豊浦高等学校教育後援会(JRC)下関地区青少年赤十字
酒井 治己
明治安田生命山口支社下関営業所

寄附

- ・アサヒ飲料(株)
・邊見 みどり
・日本料理 つかさ
・古川 純 アヤ子
・Nordic Sheep Japa 株式会社
・上田 伝七
・下関水産振興局
・三菱電機Socio-Roots基金
(三菱電機株式会社中国支社)
寄附
・塩屋 康子
・有限会社 小見山設備
・植田 実知子
(有)ブレット工業
・中村 清治
・中村 勝裕
・中村 仁志
・夢現の会様
・Puri Tab Bakery
・中部少年学院 後援会
・下関交通指導員会
・山口 洋一郎
・株式会社 ものばんく
・A I H O 山口(株)
・下関FCC会
・寿工務店
・岸本 真知子
・株式会社 カワサキコーポレーション
・山口県遊技業協同組合 山口県遊技防犯組合連合会
・福川 繁
・榎 克己
・株式会社 エストラスト
・佐藤 久美
・古谷建工株式会社
・木上 幸子
・かのに集い
・尾之上 寧生
・角倉町自治会
・栗田 幹雄
・河野 恭二
(有)坂本建設
(株)愛徳
・桔梗 稚枝子
・田辺 容子
・東條 麻希
simonoseki 819
・藤田 昌雄
・西日本高速道路(株)北九州高速道路事務所グループ
・梅光学院中学校高等学校
・関門港湾建設株式会社
株式会社 Pata 美容室 fuhcooh
・天恵会 前田 周作
・三井化学労働組合下関分会
・下関市成人の日記念事業実行委員会
・戸倉 淳
・明治安田生命 山口支社 下関営業所
職員一同

木暮実千代と社会福祉活動⑥

「感謝、感謝、そして笑顔」

寺田 弘

木暮は晩年に「日本親子心中撲滅予防協会」を立ち上げている。
どんな事情があっても、親の自殺に子どもを道連れにはしていない。一人でも子どもを救いたい、彼女は訴えていた。

戦後多くの被災孤児を救った「鐘の鳴る丘」の後援会長を長く務め、旧満州でころならずも親と生き別れた人々の苦難をわが身に引き受け、中国日本人残留孤児の親探しにかけずりまわった。また東京都大田区では女優初の保護司として大活躍。同じ時期に足しげく通った東京府中刑務所では、まっとうに生きる喜びを語り、受刑者たちに多くの感動を与えていた。

そんな中で出色なのは、十数年前に話題を呼んだ熊本市の「赤ちゃんポスト」にさかのぼること二十数年前に、同じような趣旨で『天使の宿』を前橋市大胡地区で営んだことだ。その一人の乳児に「実千代」という自分の名前まで与えていた。そんな彼女が中学生の時に、ころがすすんで不登校をかさね、非行に走りそうになった時に、すでにこの世にいない木暮からのその日のためのじきじきのメッセージが、関係者から彼女に渡された。

そこには「人生は感謝、感謝の二文字です。それに笑顔ね。そうすれば幸せは貴女のもとに舞い降ります」と、書かれていたという。彼女は言葉で立ち止まった。「あの木暮さんの言葉に救われました」「まだ若いので、これからもいろいろと悩むと思いますが、でも大丈夫です」。平成十五年に施設を訪れた私に、彼女はそう言ってくれた。若い眉と笑顔が眩しく光っていた。

その木暮は平成二年六月十三日に心不全のため七十二歳五ヶ月の生涯を閉じた、通夜の晩には駆けつけた大勢の弔問客で田園調布の家の周辺はふくれあがった。保護司として世話になり家庭を取り戻すことのできたM氏など、祭壇に向かい「先生！先生！」となき叫び、三日三晩木暮の自宅から離れず泣き続けていた。中国人留学生として木暮家に住んだT氏も「あの方は、ボクの母です。私の下着を洗ってくれました。『世の中の役に立ちなさい』といつも言ってくれました」。府中刑務社の受刑者の一人は、こう木暮を讃えた。

「神のごとこころやさしき女優なり 木暮実千代なげに逝きしか
今は亡き木暮実千代を偲びつつ 夜更けの監房に涙ふきけり

年男



年女



（児童養護）

七度目の歳男を迎えます。

「マ・前向きに、ミ・見栄えを張らずに、ム・無理をせず、メ・目一杯働き、モ・採め事つくらず。」

元気でやろうぜ!! マミムメモ、一病息災と自らを鼓舞して児童福祉に微力を尽くします。

理事長 石川 啓

中學生になるので、勉強と部活を頑張りたいです。

中島 正昭

中学生に入ってから、部活を頑張りたいです。ソフト部に入って、レギュラーをとれるようにいっぱい練習したいです。

F さん

乳児院

一期一会の縁を大切に、常に今を意識し行動していく。

竹川 智子

健康に気をつけ、子どもたちと沢山笑顔で過ごしたいです。

別所 陽子

思いやる心を忘れず、また健康に気を付けて過ごしたいです。

内田 裕美子

私の新年の抱負は「仕事と家事の両立」です。自分に厳しく、頑張ります。

加藤 朱音

誰にでも笑顔で接し、何事も丁寧にしよう努力する。

前田 千晶

いつも、楽しく健康で過ごせるように、日々の生活を大切にします。

椎 絵利華

◎児童虐待防止啓発事業

「オレンジリボンたすきリレー」

「下関2017」

昨年度も11月19日(日)9時から、カモンワーフの舞台をオレンジ会場、船着き場の横をリボン会場とし実施致しました。

リレーの部では、唐戸に周回コースを設定し、約140人の方が児童虐待防止のたすきを掛けて走りました。

また各会場では、ゆるキャラにも参加して

もらい、ダンスや太鼓、ラスバンドの演奏をして頂き、イベントを盛り上げて頂きました。そして、啓発チラシ、オレンジリボンマークの入った風船配布を行いました。



卒院生より、就職するにあたって

「とにかく頑張る」

S さん

僕は3歳のころ、なかへ学院に生まれました。最初は、不安で一杯だったけれど職員の方々は優しく迎えてくれました。それからもう15年も経ちます。

これまでに会った職員の方や子ども達、他では味わうことのできない稀有な経験をありがとうございました。

Y さん

僕は、18年間なかへ学院で過ごしていろいろなことがありました。

僕にとつて、この18年間は、かけがえのない宝物です。4月からは、社会人として新たな人生をスタートしていきますので、見守っていて下さい。

Y さん

乳児院の新院舎建築について

「乳児院の建替え計画がいよいよ動きはじめました。基本設計図はほぼできあがり、現在実施設計図の作成をめざして、詳細を検討中です。

厚労省は、新しい社会的養育ビジョンに添った・早期家庭復帰できるための支援を進めています。それが望めない場合は、家庭と同様の養育環境において継続的な養育として、養育里親・特別養子縁組を進め、それでも対応できない場合は、良好な家庭環境（施設におけるグループホームや分園型養育）において養育されるよう進めるとされています。

新院舎では、オールユニット化による家庭的な環境の中で、細やかな関わりや愛着形成をより深めていく養育を進進できるような形態を構想しています。子どもたちも、従来の横割りクラスから、1ユニット5〜6名とした、新生児から3歳時までの兄弟姉妹のような関わりのできるホームとしての生活となります。食事についても、お好み献立やおやつ作りと豊かになることでしょう。

児童家庭支援センター「紙風船」については、各部屋の機能化がなされ、地域交流スペースの設置により、時代のニーズに応じた地域支援活動も可能となります。

このような新院舎が、一日も早く建設できたらと頑張っておりますので、引き続き皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

院長 竹川 智子

児童養護施設なかへ学院
なかへこども家庭支援センターに
「ふくし生活SOS相談所」設置

「ふくし生活SOS相談所」は、高齢者から児童まで、福祉に関する悩みや問題を抱える住民の皆さんが、気軽に相談できる地域の相談窓口です。

社会福祉法人中部少年学院は「下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会」に加盟し、他の法人と相互に連携協力して、相談者の課題解決を支援します。



後援会加入のお願い

後援会事務局

法人年会費 一口 一万円

個人年会費 一口 千円

何口加入されてもかまいません。

お問い合わせはなかへ学院まで

TEL 0831-2661-1934

編集後記

♪一年生になったら……一年生になったら……♪ 角倉小の入学式。少し緊張して歩く子どもたちの姿が、とても眩しく見えました。

子どもたちにはかないませんが、大人になっても何か一つ輝くものを持ち続けたいですね。

そんなことを思ったひとときでした。

後援会事務局 秋 枝 研 二